

2008年8月31日

各支部御中

愛知県アーチェリー協会  
理事長 鈴木 健治

8月30日(土)東京にて競技規改正点の説明がありましたのでとりあえず特に関係する内容を連絡します。この改正点の適用は10月1日より施行となります。会員、特に審判員の方に連絡をお願いします。

## フィールドラウンド

第108条 (P24)

\* 6項(3) 準決勝戦の表現を【メダルマッチ】：優勝決定戦及び3位決定戦に変更

\* 準決勝戦の行射順番の変更 (P25)

旧：通常のローテーションで行う

新：準決勝戦は2位の競技者と3位の競技者の対戦が常に先に行射する。

それに続き1位の競技者と4位の競技者の対戦を行う。

\* 決勝戦の行射順番の変更 (P25)(P27)

メダルマッチではすべての標的で最初に3位決定戦を行う。その後で優勝決定戦を行う。

第403条

\* 1項今までのインナー5(X)は6点となった。

第407条 ベア部門の用具の通則

：ボウ(ハンドル)のフェース側のマークは禁止(距離測定に利用可)：追記

注)全日フィールドにて韓国製の弓でアルファベットが書かれていたため、マスキングされている。これはリカーブにも適用されるので注意のこと。

第410条 立ち順及び行射時間の管理

\* 9項 ~行射可能になるとすぐにポストに入ることが求められ。計測はポストに入ったと同時に開始する。~口答で注意を与え、この警告の確認のため、スコアカードに警告の日、時間を記して署名する。：追記

\* 11項 決勝ラウンドの行射時間の変更：4分 3分

第411条 得点記録

\* 12項 タイブレイク

個人戦及び団体戦の時

a 5点および6点の数の最も多いもの。

b 6点の数の最も多いもの。

c これでもまだ同点の場合、同順位とする。

## **アウトドア ターゲット アーチェリー ラウンド**

### 第210条 18項

公式の得点記録員がない競技会（通常の県大会等）で競技者自身が採点する場合、スコアカードにサインすることは競技者が合計点、10点数、X点数に同意したことを意味する。

主催者は、サイン（競技者、採点者）、合計点、10点数、X点数の記入のないスコアカードは受領する義務はない。すべての決勝ラウンドではスコアカードは両競技者がサインすることにより、両競技者またはエージェントが素点、合計点、10点数、X点数およびそのマッチの勝敗に同意したことを意味する。

注意：過去のインターハイの団体にて合計点の計算を間違い、勝敗を発表後間違いに気がつき訂正したが今後はサインしておれば間違いは訂正できなくなり点数の低いチーム（個人）が勝者となる可能性が出てくる。選手は常に自分の点数の合計を確認する必要がある。（国体）

### 第211条 13項 喫煙関係

～それに面した場所で喫煙してはならない。：追記P72

競技エリア内から拡大されましたので**すべて禁煙**となります。岡崎、森林

### 第212条 1項

スコアカードの記載の間違い訂正

新：矢が標的から抜かれる前に発見されたスコアカードの記載の間違いは、その標的のすべての競技者が同意すれば訂正することが出来る。訂正は、その標的のすべての競技者が確認し、スコアカードにサインしなければならない。

：選手全員のサインをすることにより記載ミスは訂正出来る。

これにより組合せは極力、同じ所属、学校など一緒にしないよう努力しなければいけないと思います。

### 第304条 305条リカーブ・コンパウンド部門の用具の通則（P89・91）

\*9項 ただしスコープの最高位置は腋の下の高さを超えないように調整しなくてはならない。

：追記

### 第308条 行射（P92）

\*5項 団体戦のコーチボックスでは監督は3脚付のスコープを使用しても良い。：追記

以上の主な改正点を連絡します。フィールドの6点、矢が抜かれる前の得点の訂正、喫煙関係などが主な改正点ですがその他の改正点は団体戦の交互射など通常の大会では関係ないところがあります。がそれらについては今後、理事会、講習会で連絡したいと思います。